

# コートオフィシャル【サンドレベラー(レーカー)】の役割について (参考資料)

## 1 服装

全員が揃う服装が望ましいが、支給がなく揃わない場合は、同系色の服装を着用し、運動靴と靴下を履く。支給される場合は、支給された服装を着用する。

## 2 試合前の集合時間

試合設定時間の20分前までに、また、前の試合が長引いた場合は、前の試合が終了する前に指定の場所に集合する。

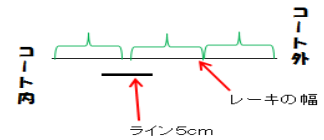
## 3 人数

6名または4名、大会によっては2名や、ボールリトリバーが兼ねることがある。

## 4 主な業務

試合前(前の試合終了後すぐに)、公式ウォームアップ後、タイムアウト、テクニカルタイムアウト、セット間に(約40秒で)コートの砂地を平らに直す。

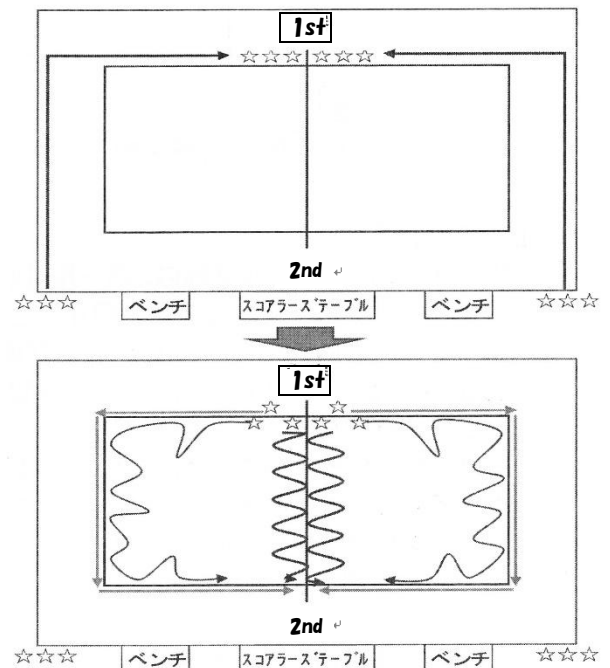
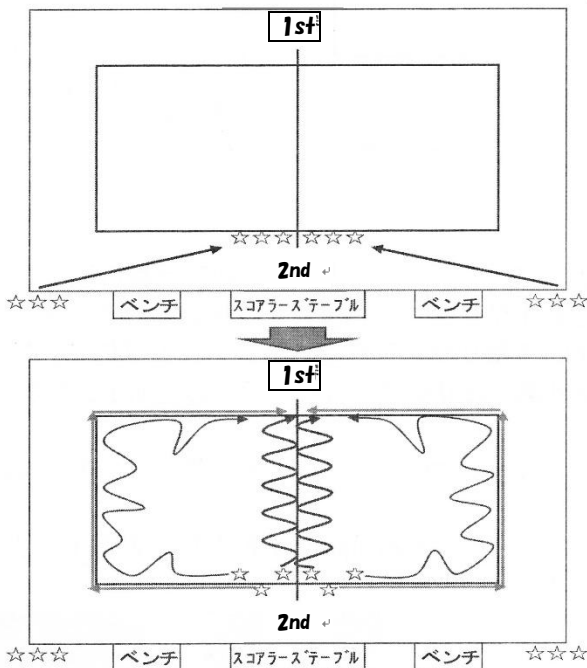
- (1) 試合中はコートサイドに待機し、上記の際、一斉にサイドライン上に走って移動する。
- (2) 1番内側の人から先にネット下からレーキ1本分離れた場所からネット下に向かって、掘ったり耕したりせず、表面だけを反対側担当者と交互に均す。
- (3) [4名または6名の場合] 2番目の人はネット下作業が開始したら、ラインの下が平らになるようにラインの上から均す。  
※その際にレーキ全体の3分の2が、コート外になるように、レーキの位置を保つ。
- (4) [6名の場合] 1番外側の方は担当コートのレシーブ位置の凸凹をライン側から軽く砂を押しながら平らにする。
- (5) [2名の場合] ネット下とライン上の両方を平らにする。
- (6) 全員が終わったら、最初に立った反対側のサイドライン上に立って、一礼し、元の位置に戻る。



【1・3・5・・・回目】



【2・4・6・・・回目】



レーキを持って移動する際に選手と接触しないように周囲に気を付けること。

1回目にセカンドレフェリー側から始め、2回目はファーストレフェリー側から始める。その後も交互に行う。

※4人の場合、ネット下とライン上を平らにした後、時間があれば、サーブレシーブをする所も凸凹になっていないか確認し、凸凹の場合には、できる限り平らにすること。